

令和2年度東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会
大家畜分科会 開催要領

東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会長
農研機構東北農業研究センター
畜産飼料作研究領域長 下司 雅也

1. 趣旨

飼料自給率の向上や省力化の観点からも放牧による家畜飼養が求められている。しかし、放牧では家畜が自由に動くため、家畜管理が舎飼いより困難となる一面がある。そこで、畜産飼料作推進部会大家畜分科会では、放牧地における家畜管理の省力化について、近年普及しつつあるAI・ICT技術を用いた機械からのアプローチと家畜本来の能力を活かすアプローチの2名から話題提供をいただき、新しい放牧地における家畜管理技術について情報交換を実施する。なお、両者の話題提供は、農研機構生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業（うち人工知能未来農業創造プロジェクト）」の支援を受けて実施した「AIやICTを活用した周年親子放牧による収益性の高い子牛生産技術の開発」の中で得られた成果が中心となる。

2. 開催日時

令和3年1月27日（水） 13:15～16:00

3. 開催場所

アイーナ（いわて県民情報交流センター） 5階 会議室501号室A
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 TEL: 019-606-1717

4. 議題

1) 話題提供

(1) 「AIやICTを活用した放牧監視技術の開発（仮）」

農研機構畜産研究部門草地利用研究領域 山地放牧ユニット長 喜田環樹

(2) 「母牛の能力を活用した取り扱い易い子牛の省力的育成技術の開発（仮）」

東北大学大学院農学研究科 准教授 深澤 充

2) その他

5. 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、東北地域の各大学、その他推進部会長が必要と認める者。最大22名。

6. 新型コロナウイルス感染防止対策

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の点についてご承知おきください。

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、オンライン会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。
- ・参加人数は収容人数の概ね50%以下を目安としておりますので、出席者の人数を調整する場合があります。
- ・発熱や咳が続いている方、咽頭痛や倦怠感、嗅覚・味覚障害等の新型コロナウイルス感染症の可能性を疑われる症状がある方、政府から入国制限や入国後の行動制限が必要とされている国・地域等より帰国して14日を経過していない方は、出席をお控えください。
- ・会場の入口にて検温を実施しますので、ご協力をお願いいたします。
- ・出席する方は各自マスクをご持参いただき、会議室内等での着用をお願いいたします。また、咳エチケットをお守りください。

- ・会場入口に消毒液を用意しますので、入退室時の手指の消毒をお願いいたします。
- ・出席者等に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に参加者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。

7. 連絡先

畜産飼料作推進部会事務局
農研機構東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 志水 学
Email : xx145130@affrc.go.jp
電話でのお問い合わせ : 019-643-3542

※ 資料提出などの詳細については、別途事務連絡いたします。